


たが

こんにちは 
議会です!!



ふれあいゲームで賞品ゲット(6月7日 高取山ふれあいまつり)

- ・ 6月定例議会 2
- ・ 町長行政報告・臨時議会 3
- ・ 各常任委員会審議報告 4
- ・ 一般質問 8議員が問う 6
- ・ がんばってます..... 12

第122号

平成21年8月1日発行
発行多賀町議会
編集広報発行対策特別委員会

滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324
〒522-0341 ☎0749(48)8126
FAX 0749(48)0157
有線 2-2011

ホームページ <http://www.tagatown.jp>
E-mail gikai@town.taga.lg.jp

平成21年度

一般会計補正予算

2億1,700万円追加(交付金含む)

予算総額 37億6,700万円

6月定例議会は、11日から23日までの日程で開催し、専決処分7件、報告5件、条例改正1件、補正予算2件、請負契約1件の16件を審議し、いずれも全員賛成で原案のとおり承認、可決した。

21年度補正

一般会計	
歳入の主なもの	歳入の主なもの
国庫補助金	1473万円
国庫交付金	1億2400万円
県支出金	365万円
繰越金	7466万円
歳出の主なもの	歳出の主なもの
災害の備蓄物資の整備	2021万円
感染症対策事業	326万円
多賀小学校アスベスト対策工事	1357万円
妊婦健診委託料	428万円
火災報知器設置	65才以上非課税世帯対象で9割補助 216万円
小中学校のパソコンと教育関連施設のテレビ等	5975万円
個性輝くまちづくり活動支援事業、各字公民館テレビの地デジ対応への補助。	900万円
鳥獣害防止対策事業	3623万円
地域振興商品券発行	150万円
住宅リフォーム補助金	工事費50万円以上で、上限を20万円補助 600万円
道路舗装工事	町道2路線の舗装工事 3100万円
除雪機更新	1800万円
下水道事業特別会計	消費税過去3年分納付 1500万円
請負契約	多賀中学校耐震補強・改修工事 1億6128万円 彦根市芹町(株)長組
条例改正	児童福祉施設の設置等に関する条例の一部改正。 ゆりかご保育所(佐目)閉所に伴うもの。



耐震補強工事がはじまる中学校

久保町長の行政報告

「やさしい多賀づくり」



おじいちゃん、おばあちゃんとおもちづくり

福祉関係

- ・65才以上の人や障がいを持った人の交通機関として乗り合いタクシーを10月より実施予定。
- ・駅前古民家を借り受け高齢者の憩いの場や宅配サービスの拠点として商工会と連携して整備をしていく。
- ・子育て支援、課題を持つ子どもや、家庭の応援に「ふれあいの郷」内に

教育関係

- ・子ども家庭応援センターを設置、就学前から中学校卒業まで一貫した支援を行う。
- ・保育園業務も教育委員会との所管とし、幼稚園2園、保育園2園の全園で統一した教育目標を立て教育・保育体制の確立に努める。
- ・中学校の耐震補強工事は本年夏休みを中心に10月完成をめざす。

農林商工関係

- ・獣害対策として昨年度は芹川沿岸を行った。本年は富之尾、藤瀬地区を中心に対策協議会と検討していく。
- ・中心市街地の活性化に向け専門家のアドバイスを受け推進する。

臨時議会

5月28日、第2回臨時議会を開会し、同意1件、専決処分2件、条例改正4件を審議し、同意、承認、可決した。

同意

固定資産評価審査委員会委員
中川原 野村 清嗣 氏(再)74歳
(全員賛成)

特別職の給与に関する条例改正
町長、教育長、議員の夏期一時金を015カ月分減額する。
(全員賛成)

専決

国民健康保険税条例の改正
介護保険金課税限度額を10万円に改める。
(全員賛成)

税条例の改正
公的年金から、同年金に対する町民税のみを徴収することに改める他。

条例改正

税条例の改正
長期優良住宅の普及のため固定資産税の減額申請ができる。
(全員賛成)

特別職の給与に関する条例改正
町長、教育長、議員の夏期一時金を02カ月分減額する。
反対討論(要旨)
山口久男議員
今回の人事院勧告は異例の勧告である。
内需拡大による景気回復に逆行するものであり、政府与党の政治的働き、選挙に向けて、公務員をたいたとアピールするための党利党略である。
国会に補正予算を出しながら、内需を冷やす一時金削減を行うのは道理に合わず、反対する。
(賛成10 反対1)

議員・町長・教育長および職員夏季一時金減額

職員分について山口議員反対討論を行う

総務常任委員会

地域活性化 経済危機対策交付金

1億2400万円を活用

6月12日開催
付託を受けた、平成21年度一般会計補正予算を審議し、原案のとおり可決すべきものとした。

総務課所管

- ・町施設内の古いテレビを地デジ対応に変更
- ・芹谷集会所の修理
- ・庁舎内の補修

問 庁舎内のロビーは壁掛が望ましいが。

答 現在は移動式を考えているが検討する。

問 芹谷集会所の所有権は個人所有であれば慎重にすべきだ。

答 建物は町に寄付されている。土地は現在も大坂在住の人のものである。

・消防費として災害用物資を備蓄する。

問 災害用備品の内訳は。

- 毛布 2000枚
- トイレ 5基
- 飲料水パック 2000個
- 給水タンク 1基
- テント 4張
- 救助工具セット 5セット
- 備蓄用倉庫 1棟
- その他
- マスク 6000枚
- 消毒液等

教育委員会所管

- ・各教育施設のテレビの買換
- ・各小中学校のパソコンの買換、インターネットの整備
- ・多賀小学校の給食室関連の改修

問 小学校、渡り廊下のアスベスト撤去は遅いのではないか。

答 基準が変更になったので今回対応する。

問 中央公民館のアスベスト問題は、補助金での対策はできないのか。

答 アスベスト調査等には多額の費用がかかる、再度調査し、総合的に考えて検討したい。

問 経済的に困難な児童生徒に対して今回の交付金は活用できないのか。

答 現在、要保護・準要保護援助費を補助している。就学援助金とも考えていきたい。

問 火災警報器の設置の委託先は、対象者は。

答 対象者は65才以上で非課税世帯、シルバー人材センターに委託。

地域振興券



5,000円券 (500円 x 12枚)

・多賀公園内に休憩所2カ所新設する。

問 テレビの買換は、地元販売店でない補助対象にならないのか。

答 経済対策なので補助対象にならない。

農林商工課所管

- ・地域振興券「ささゆりクーポン券」5000円で6000円の買物券を発行
- ・住宅リフォーム助成金制度創設

対象者 65才以上高齢世帯障がい者同居世帯18才以下同居世帯助成金

・50万円以上の工事で10%、最高20万円。

・芹川北地区の鳥獣害対策補助金

問 「広報たが」で周知を図る。販売は商工会で検討するよう指示している。クーポン券取扱店は52店

建設課所管

- ・除雪機の買換
- ・町道舗装工事 2カ所

問 除雪機の入札は、古いドローザーはどうするか。

答 2社を考えている。災害時に必要と思われる。総務課と協議する。

問 今回の大規模舗装はキリンビル、マルホの前の道路であり県道への移管の考えは。

答 県道への移管は現在のところ考えていない。

公営企業課所管

- 下水道事業特別会計 消費税 1500万円
- 6月末日納付

6月15日開催
付託を受けた、平成21年度一般会計補正予算、下水道事業特別会計補正予算を審議し、原案のとおり可決すべきものとした。

企画課所管

- ・町内各地区の公民館等にテレビの買換に対し50カ所、最高18万円の補助金を出す。

問 地域振興券・住宅リフォーム助成金の町民への周知は、振興券の販売場所・取扱店は。

答 地域振興券・住宅リフォーム助成金の町民への周知は、振興券の販売場所・取扱店は。

閉会中の調査

5月12日 教育委員会所管
各保育計画・事業概要
学校教育方針13項目・事業概要
社会教育方針4項目・事業概要
各施設の視察を行い、説明を受けた。



教育施設の視察

問 多賀中学校の耐震補強工事はいつからするか。

答 夏休み前より工事にかかりたい。

問 歴史民族資料館は今後どうするのか。

答 年間70万円の維持管理費用がある、今後どうするか検討している。

問 あけぼのパークで本年既設の遊具を撤去し、新しくされたが樹木・芝生の枯れがあるが検査は。検査は終わっているが、

閉会中の調査

5月14日、建設課所管について現地視察調査をした。

事業名	路線名等	地先
改良	尺仏川相線	藤瀬
	富之尾1号線	富之尾
	敏満寺本線	敏満寺、尼子
舗装	小森池線	富之尾
	四手多賀北線	多賀
里道舗装	一円地区	一円
集落排水	藤瀬地区	藤瀬
	中川原地区	中川原
急傾斜地	栗栖地区	栗栖

湖東土木事務所所管事業

- 道路関係..... 3カ所
- 河川関係..... 2カ所
- 砂防関係..... 8カ所



県道 甲良多賀線

問 県道甲良多賀線の名神側道の信号機の取付は。

答 彦根署、県警本部に要望しているが良い返事はない。引き続き要望していく。

町政の
ここが
ききたい

一般質問



医療費の無料化は 財源確保を図り検討する

—町長—

本多重男 議員

本多議員
町長が就任当初掲げていた、義務教育終了年代までの医療費の無料化については、具体的に実施となると対象者の自己負担分を町の財源で補うこととなる。
財政事情を踏まえ、制度の設計をする必要があると思うが実施計画、年度や財源について問う。
町長
義務教育終了年代までの医療費無料化を行うことは、厳しい財政状況が続いている現在、就任当時と状況も変わり安定した財政計画が見通せない状況にある。
今後、財源確保を図り、制度内容も踏まえ検討していく。

本多議員
効率的な行政運営のためには、組織をスリム化合理的に事業を行うことが求められている。
現在、職員数においては、新規職員の採用を控え削減を図られている。
住民のニーズに迅速、的確に応えられるよう、組織の見直し、課の統廃

組織等の見直しを図れ 早期に実施する

—町長—

町長
厳しい社会情勢のなか、限りある財源を有効に活用した行政運営の遂行には、事務の効率化・役場組織の見直し、課の統廃合は喫緊の課題であると考え早期に実施していく。



庁舎内各課の案内板

拠点避難場所の安全は 確保されているか 中央公民館は未整備

—町長—

北川久二 議員



北川議員
2036年までに起る可能性が大きい、大地震が発生した時は相当の被害が想定されることから、多賀町地震ハザードマップが作成され、拠点避難場所として9カ所が指定されている。
安全で安心できる場所と確信しているが、耐震診断はできているのか。診断の結果、補強が必要な施設がある場合補強工事の実施の予定はいつか。
町長
拠点避難場所は9カ所指定しているが、中央公民館だけが耐震診断ができていない。
大規模な改修工事が、新築か、そのほか新たな手法など、財政状況も照らし合わせ検討する。

体育施設の減免申請の統一を 統一していきたい

—教育長—

北川議員

教育委員会が管理運営している6つの体育関連施設。

各施設の使用料徴収や減免は規則で定められているが、使用料の減免に際しての該当する項目や減免申請書の提出について、施設により異なっている。

減免措置により、広くスポーツが振興することを期待し、統一した判断による減免とすべきと考えるが教育長の所見は。

教育長

小学生で構成されている7つの多賀町スポーツ少年団には全額免除扱いとしている。
最近スポーツ離れしつつある子ども、また少子化傾向のある中で、スポーツする場として使用しやすく、気軽に運動できる場を提供したく、減免免除について統一を図っていききたい。



藤本一夫 議員

水谷地区に町は何できるか 県に粘り強く要請をする

—町長—

藤本議員
知事のダム中止の決断から約半年間、多賀町は何も具体的な策や、手だてもしていない。
地元の老人が屋根のペンキ塗りや修理に追われる日々に対し、町として如何に考えているのか、速急な救済処置が出来るのか。
鳥取県の中部ダムでは知事、町長、町職員が三位一体の復興をしている。多賀町も中部ダムを見習った決断ができないか。
町長
生活再建の具体策の提示の無い状況の中、苦渋の決断で、自己資金での補修維持の手入れを余儀なくされている。
嘉田知事が皆さんの意向を真摯に受けとめ、誠意ある納得し得る具体的な再建策が示されるまで粘り強く、町として要請する。

入山者の規制と 安全対策は 警察と協力して対処

—総務課長—

藤本議員

鍋尻山で滑落事故のため、に尊い2人の命が失われた。
山に精通した地元者でも近付かない場所に平気で山菜を取りに入る人がいる。
マナーの悪さに怒りを感じる。
入山者に対して、町として何か手立てがないか。
総務課長
今回の鍋尻山の教訓から、山岳救助関係者会議を立ち上げ、登山コースの整備や地元の自主活動による危険箇所の点検を行い、登山者への安全対策を講じていく。
ハイカーのモラルの低下は、悪質な内容は警察への通報を行い、不定期だが警らをお願いしている。



滝の宮スポーツ公園のグラウンドと体育館



登山口に設置されている看板



土田 一善 議員

信号機の設置はいつか 実現に向け努力する

—町長—

土田(一)議員
県道甲良多賀線、名神高速道路側道の拡幅工事が進んでいるが、信号機の設置はいつか。
県道高宮多賀線との交差点であり通行車輛が増加すると思われる。地域住民の生活道路であり、小中学生、高校生の通学道路でもある。
道路は公的に必要でも安全第一、住民を大切に
通学優先、歩行者優先で対応すべきである。
信号機が設置されるまでは、町長の責任で供用開始はストップしてもらいたい。

信号機の設置要望書が提出されている。
町として、20年4月2日設置要望書提出以後、何回も要望活動を行ったが、設置時期の明確な回答が得られていない。
本年5月7日に直接要望したが、期待の回答は得ることができなかった。
早期に信号機の設置に向け協議を行い実現に向け努力をしていく。
児童生徒の安全は大切なことであり、通行止めはやむを得ない措置であると考える。



開通と信号機の設置が待たれる県道(土田付近)の交差点

ダム移転用地をどうするのか 用途変更は考えていない

—町長—



ダム集団移転予定用地

土田(一)議員
町長は5月17日大津で開催の水源地フォーラムに午後から欠席したが、ダム問題より大切な用件があったのか。
デイスカッションに出席すべきであり紹介もされたのに残念であった。
丹谷ダム建設予定地の代表として谷口部会長の発言の中に「移転地を確保してもらった」とあったが用地代2億3千万円はどのように工面したのか。
滋賀県との用地に関する契約書は存在するのか。

水源地フォーラム当日は、最後まで参加で日程調整をしていたが、町内集落での懇談会がありやむなく退席した。
集団移転用地は、水没地域との基本協定締結の前提となる、代替用地として先行取得したものであり、県との契約書はないと聞いている。
この土地は、地元住民の皆さんが移転を希望されているところから、他の用途に変更利用することは全く考えていない。

ごみの訪問回収をせよ

—町長—



大橋 富造 議員

ばならない大きな課題であると認識している。
ちよつとした手助けについて多賀町シルバー人材センターと協議を重ね暮らしの身近な手助けとして「地域あつたか支援事業」を今年度から立ち上げてもらった。
集落の状況も見きわめながら、体制を検討する時期であり、新しく始まった制度や集落での協力体制を促していきたい。

町の環境管理システムは 温暖化対策は実行中

—町長—



広域行政組合リバーセンターで研修中

大橋議員
多賀町では、国際規格の認証取得はしていないが、町独自の環境管理システムをしている。
その一つに地球温暖化実行計画が策定されている。
一事業者として、その事務事業から排出される温室効果ガス排出を削減するための実行が既に開始されている。

目標達成に向け職員未端まで具体施策が周知徹底されているのか。
ゴミの減量化や資源化へ取り組むべき時期であると考えるが町長に問う。

町長
平成20年3月から地球温暖化対策実行計画を策定し、温暖化対策の推進を図っている。
平成20年から24年度の

議会を傍聴して下さい
9月の一般質問は
8日予定です。

町長
高齢化率が年々上昇している本町の状況から、対策を講じていかなければ

大橋議員
年々高齢者の世帯が増加する傾向の中で、家庭ゴミを集積場まで持つて行くことが困難な人を対象に、自宅まで直接ゴミの回収に向く「ふれあい訪問収集」等視点を變えて判断する必要があると痛感している。
こうしたゴミの訪問回収の実施はできないのか。



パッカー車によるゴミ回収



川添 武史 議員

福祉給付金の支給をせよ 今後検討する必要がある

—福祉保健課長—

川添議員
現在、母子家庭、老人家庭において生活保護を目的に支給されてきた母子加算、老齢加算が廃止された。

多賀町の現状を見ても保育園では母子家庭、父子家庭が年々増加しており、大変な状況で子育てをされている。
高齢者のみの家庭も増加しており介護保険の増額等で苦勞されている。
他市町では福祉給付金を支給している自治体もあり多賀町においてもできないか。

福祉保健課長
平成20年度にすべての制度が廃止された。
現在のところ考えていないが、今後の国の施策などの状況を見きわめ、検討していくことも必要ではないかと思っている。



—建設課長—

「大瀧神社」に駐車場を 県に要望していく

富永 勉 議員

町長
町有施設や公共交通の集客場所以外の駐車場施設は、その関係者や観光協会等が取り組んでおり、直接行政がかかわっていない。

建設課長
以前に観光協会からも要望があり、県に続けて要望していく。

富永議員
毎年、多賀大社をはじめ河内風穴など多くの観光客が多賀町を訪れる。春は桜、秋には「大蛇の淵」の紅葉の大瀧神社。残念ながら完全な駐車場がなく、地域の特性を活かした効果的な観光振興の展開が図れない。
『大瀧神社』に、一人でも多くの観光客の受け入れ態勢を充実するため「完全な駐車場」は必要と考えるが。



県道に面した大瀧神社の駐車場

過疎化対策 この一年の取り組みは 地道な努力が必要

—町長—

富永議員
昨年6月の定例会で私の質問「多賀町における過疎化対策」について、町長は「早急に対策が必要であり、魅力のある多賀町のまちづくりを推進しなければならぬと思う」と答弁された。
この一年、何をどのように取り組んだか町長に問う。

町長
従来より、個性あるまちづくり活動に対しての自治会各種団体への支援、妊産婦への定期健診助成などの施策を実施。
21年度は、子ども家庭応援センターをこの4月よりスタート。
今後も中学校までの医療の無料化、中学校給食を実施に向け進める。
65歳以上の人や障がい者の人を対象に乗り合いタクシーの運行を10月実施に向け進めている。

定住自立圏構想の メリットはあるか

住民サービスは広域的に対応 —町長—



山口議員

定住自立圏構想について、

彦根市が中心市となる圏域で、周辺町となる多賀町のメリットはあるか。
連携する事業について議会・住民の意向が反映されるか。

協定の内容、財政負担はどうか。

町長
人口が減少していく中で、町単独で住民サービスのすべてを賄うには限界がある。

山口 久男 議員

行政サービスのうち、より高度なものや広域的に対応しなければならぬ、医療・福祉・産業・教育などについては、彦根市を中心とする圏域で取り組むことによりネットワークの強化が図れると考えている。

民間や地域の関係者を構成員とする「圏域共生ビジョン懇談会」における検討を経て周辺町と協議、議会の同意を得た上で策定する。

内容は、図書館ネットワーク・地産地消・公共交通ネットワーク・医療連携・職員交流の5つの部会で具体的に協議する。国の財政支援があるが、負担の案分方法については今後協議する。

中学校給食は自校方式で 小学校から配送が最善

—町長—

山口議員
町長は3月議会で、自校方式・センター方式・小学校の給食施設から配送する。のいずれかの方法で進めると答弁した。
自校方式を採用すると暖かい給食を提供できる。調理師の顔が見える。配送コストが省ける。
以上の理由から、自校方式による中学校給食の早期実施を求める。

町長

3方式についてそれぞれ検討を加えているところである。

乗り合いタクシーの導入を 10月頃から導入したい

—企画課長—

山口議員
町民がどの地域に住んでいても安心して生活できるようにするための交通の充実が求められている。
乗り合いタクシーが検討されているが、実施時期は、利用対象者は広範囲に、各字に設置する停留所は「ドアツードア」に、料金設定は、予約センターの体制は、既存のバス路線は、

企画課長
地域の公共交通システムの見直しをしたが、高齢者の外出支援策として、乗り合いタクシーを計画している。
実施は認可が必要であるが10月を予定している。65才以上の人、障がい者とその介助の人。ドアツードアは無理。一般のタクシー料金よりは低料金に。
タクシー会社に委託。現行どおり運行する。



多賀小学校の給食室内



「多賀クラブ」のメンバーの皆さん

元気と笑顔の 発信元になりたい

はじめまして、多賀ク
ラブのメンバーです。

ここに生まれてよかつた、ここに住んでよかつた、そう思える多賀にしたいと活動しています。

現在は、一円にあるお屋敷「里の駅」を拠点に毎月、第1土曜日に「野菜市と集い」、毎月20日に、そば打ち体験会を開

いています。

多賀産の野菜やそばがこんなにおいしかったのかと思える集いですよ。

第1土曜日は、野鳥の森観察会も開いていて、多賀の自然を満喫できます。

どなたでも、気軽にご参加下さい。

ここから一緒に、笑顔と元気を多賀町中に発信しましょう。

栗本 泉記

がんばってます！

趣味も仕事も 頑張っています。

若い時から木工が趣味で15年位前から瓢箪ひょうたんの栽培加工も始めました。木も瓢箪も似た所があり同じ物はありません。その魅力に引かれ少しの時間も惜しんで取り組んでいます。瓢箪の栓を作りたくて、木工旋盤を購入して挑戦しました。

今では、盆や花瓶作りもできるまでになり、木工の幅も増えました。何をするにも独学で工具も充分になく、考えながら自作もします、そんな時に全く関係のない仕事でのアイデアが生まれる時があり、趣味は仕事にも役だっています。

昨年定年を迎えました。そのまま、若い人に負けないように、頑張っています。

今は瓢箪の実が付きだし、朝夕、畑に行くのが楽しみな時期です。

今までに作った木工品と、数多くの瓢箪を常時展示していますので、機会があれば家が立ち寄って見て下さい。

富之尾 富永 光男

富之尾 富永 光男

富之尾 富永 光男

富之尾 富永 光男

富之尾 富永 光男

富之尾 富永 光男

富之尾 富永 光男

富之尾 富永 光男

富之尾 富永 光男

富之尾 富永 光男

富之尾 富永 光男

富之尾 富永 光男

富之尾 富永 光男

富之尾 富永 光男



沢山の瓢箪に囲まれて

編集後記

気象庁発表による長期予報では、本年は猛暑になるそうです。

政局もマスコミで言われているバラマキ型の補正予算が通り、多賀町にも配分されました。

また、いつ衆議院解散総選挙が行われるかマスコミの報道もエスカレートし熱き戦いの様相です。

今回の選挙はマニフェスト選挙になるでしょう。マスコミ報道に惑わされず、これからの国のあり方について、自分の意見と共通する人を選んでみてはどうでしょうか。

本年成人になられた方も、初めての選挙です。是非とも一票を投じていただきたいものです。

川添 武史記